

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	楽器レッスン2（ベース）	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		開講時間			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて譜面、資料等を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	上野一郎			実務経験の有無・職種	有・プロベーシスト		
学習目的							
有名なコードリフ、ギターソロには、リスナーに訴えかけるノウハウが沢山詰め込まれています。この科目を受講する学生は、ギターという楽器により強く興味を持ち、ギターを使って様々な楽曲や演奏スタイルに触れることで、ギタリストの視線から作曲・アレンジ力を養っていくことを目的とする。ギターの上述には、能動的な態度で音楽に向きあうことが必須である。日々生まれる疑問点を、毎回の授業で手厚くサポートし、個々の実力アップに集中できる講義。							
到達目標							
自由にベースラインを構成していけるようになること、またそのために必要な演奏技術の獲得を目指す。 ベースラインという単旋律を「作曲」することにより、楽曲の中での役割を理解し同時にアレンジ面でも活用できるようにすることが目標である。 1年次の基礎学習課題である「ベーシック（4）リズムセクション」への理解度を深め、楽器レッスンにて学んだ技術・知識を作曲に反映できるようにする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、譜面によるエクササイズと用意した練習曲を中心に進めていく。 また、作曲におけるベースラインというものの地位を認識するために、アレンジや理論の知識もレッスンの中で習得する。 楽器の技術習得だけではなく、理論面からのアプローチも試みられるように知識を習得するために板書も行う。						
注意点	この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 配布資料を必ず持参、毎回の板書も必ずノートを取ること。自宅での反復練習を行う事。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ダイアトニックスケールとは			ダイアトニックコードについて理解する			
2回	ダイアトニックスケールとアルペジオ			ダイアトニックコードをアルペジオなどいろいろなスタイルで弾く			
3回	ダイアトニックコードを意識してスケールを弾く			ダイアトニックコードとスケールの関係を把握する			
4回	ダイアトニックコード上のスケールを弾く			ダイアトニックコードの進行を感じながら弾く			
5回	8ビートのフレーズの習得			8ビート感覚を感じながら弾く			
6回	リズムとフレーズの正確性の追求			正確な演奏を目指す			
7回	7 t hコードを覚える			ブルースのコード進行の理解			
8回	シャッフルビートをリズムと合わせる			ブルーススケールと調性についての理解 シャッフルビートについての理解			
9回	3連符を意識したコードバックキング			ビート感覚を大事にブルースを弾く			
10回	ブルース進行の習得			コード進行とシャッフルビートを正確に弾く			
11回	16ビートのリズムを知る			16ビートのリズムの構成、シンコペーションの理解			
12回	16ビートのカッティングの分析			16ビートフレーズの正確な演奏			
13回	16ビートカッティングとリズム			16ビートフレーズとダウンビートの関係の把握、正確な演奏			
14回	3フィンガーのアルペジオ			アルペジオのフレーズについての理解			
15回	まとめ			さまざまなテクニックを内包した楽曲を正確に演奏			